

# 2017 年度学生奨学論文を募集します！

在学生の皆さん！日頃の勉強成果を論文で発表しませんか？個人でも、グループでも応募可能です。入賞者には副賞として最高20万円の奨学金および5万円の図書カードを贈ります。募集要項をよく読んで、どんどんご応募ください。（過去の様子は <http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/> を参照）

## 応 募 要 項



### 1. 応募資格

大阪経済大学に在籍する学部生。1人または1グループにつき1論文とします。

※但し、インターネット公開の許諾を条件とします。科目等履修生は該当しません。

### 2. 論題

自由論題ですので、各自で自由に論題を設定してください。

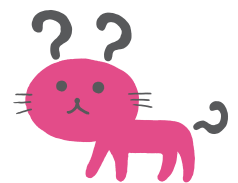
※論文については、先行研究を十分に踏まえて作成してください。

### 3. 原稿の体裁

分量はおおむね、刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて10ページ程度とします。但し、表紙、要約、目次は原稿枚数に入りません。なお、作成にあたっては、原稿様式（Word形式）を学会ホームページに掲載しますので、その様式を使用してください。（6月に掲載予定）

**【注意】以下の体裁を守らない場合は審査の対象外となります。**

- (1) 1ページ 40字×40行
- (2) 表紙→要約→目次→本文の順番で作成
- (3) 表紙、800字程度の要約、目次を作成
- (4) 本文にはページ数を表示する
- (5) 論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること
- (6) 論文内（データ等含む）に謝辞や指導教員等がわかる情報は一切入れない
- (7) 集団研究の成果で個人が応募する場合、関係者の承諾を得ること（承諾書の提出義務）
- (8) 応募は未発表の論文であること
- (9) 過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなものとするのであれば、未発表の論文として応募できる（本文初めに「本論文は、20××年度学生奨学論文に応募した原稿を基に、作成したものである」などの記載を入れる）
- (10) 共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなど、確認すること
- (11) 誤字脱字がないか必ずチェックをすること



### 4. 提出について

提出期間：2017年9月25日（月）～9月29日（金）17:00まで

受付時間：9:00～17:00（休憩時間12:30～13:30除く）

※厳守 上記期間を過ぎての提出は認めません

提出先：大阪経大会事務局（J館3階 研究支援・社会連携課内）

提出物：(1) 学生奨学論文申込票（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定です。

ボールペンで記入する（シャープペンシル、えんぴつは不可）

(2) 学生奨学論文使用許諾書（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定です。

ボールペンで記入する（シャープペンシル、えんぴつは不可）、押印する。

(3) 論文原稿（1部）プリントアウトした原稿

(4) 関係者の承諾書（該当する論文のみ）

(5) 申込票 [Excelデータ] (1)、論文原稿ファイル [Wordデータ] (3)のデータはUSBに入れて提出してください。

ファイルはホームページに記載の所定の様式（Word形式で拡張子は.docx）を使用すること

※ 不備がある場合は、審査の対象外とします。



# OSAKA KEIDAI GAKKAI

## 5. 審査

本学専任教員で構成する審査委員会が行います。

## 6. 結果発表

2017年12月に受賞発表・表彰式を開催します。

## 7. 表彰と副賞

■ 参加賞として、図書カード5千円分を差し上げます。

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を差し上げます。

※但し、審査委員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞は出しません。

■ 入賞者へは12月に受賞発表会を開催し、賞状及び副賞を授与します。各賞と副賞は以下のとおり。

〔特選〕 副賞 奨学金20万円（経大会）および図書カード5万円分【大樟会（同窓会）】

〔入選〕 副賞 奨学金10万円（経大会）および図書カード3万円分【大樟会（同窓会）】

〔佳作〕 副賞 奨学金 5万円（経大会）および図書カード1万円分【大樟会（同窓会）】



## 8. 入賞論文の公表

入賞論文については、「大阪経大会通信」に概要を掲載するとともに、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。また、特選および入選論文については、本学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大会に帰属します。

## 9. 昨年の入賞論題・・・図書館にて閲覧可能です

〔特選〕 該当なし

〔入選〕 「自己効力感」の向上はテストの成績を高めるのか

—米国の学生を対象としたRCT実験およびアンケート調査より—

〔佳作〕 大阪企業の資本構成についての実証研究 —大阪企業と東京企業の比較分析—

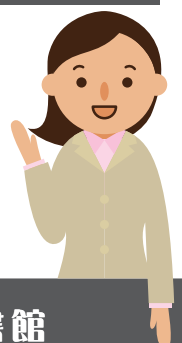
## 10. お問い合わせ・ダウンロード先

大阪経大会 事務局（J館3階 研究支援・社会連携課）

TEL :06-6328-2431 FAX : 06-6370-7847

E-MAIL : gakkai@osaka-ue.ac.jp

経大会ホームページ : <http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/>



# 第30回 学生奨学論文応募説明会

## ■ レポートとの違いを理解しよう

### □ 自分なりのテーマを設定する

『論文・レポートの書き方』

手引きシリーズ (<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>)

第2章 P.28 「3. 卒業論文のポイント」参照

POINT



### □ 引用文献を必ず書くこと

『論文・レポートの書き方』

手引きシリーズ (<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>)

第5章 P.69 「文献・資料の引用」参照

## ■ 応募することに意義がある

### □ 学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。

挑戦することが成長になる!

おきramえず書いてよかった!

経験はかけがえない財産!

自信を持つことができた!

一人でも多くの学生に挑戦してほしい!



入賞者の声

## ■ 審査のポイントを押さえよう

### □ 形式

- ・募集要項の提出条件を満たしているか
- ・文献引用は適切か
- ・“注”のつけ方は正しいか
- ・誤字、脱字はないか

### □ 内容

- ・表現力、分析力、構成力はあるか
- ・主張が明確か、オリジナリティはあるか
- ・説得力があるか  
(結論まで整合性がとれているか)



### 引用とは・・・

論文の中で、既にある文献や資料の文章などを使った箇所のこと。

「」でくくったり、行頭を1字下げたりする。

ただし、参考文献を挙げるだけでは、論文として評価されないので注意しよう。

## ■ スケジュールを立てよう

6月

・テーマ設定



7月～9月

・資料収集  
・下書き  
・推敲

10月

・提出



### □ 形式はとっても大切

- ・形式の良し悪しで賞の種別に影響することもある

### □ 調査やフィールドワークはポイントが高い

- ・テーマの分野にもよるが、実態調査や聞き取り調査は評価が高い傾向にある

### □ 共同論文の場合はこれに気をつけて

- ・テーマを設定する際には、きっちりと方向性を合わせよう
- ・論文構成には十分注意しよう

## ■ 最後に一言

学生奨学論文は、書けば必ず自分の力になります。途中であきらめたくなることもあるかもしれませんが、頑張っで最後まで仕上げましょう! わからないことがあれば、気軽に質問してください。皆さんの応募をお待ちしています。



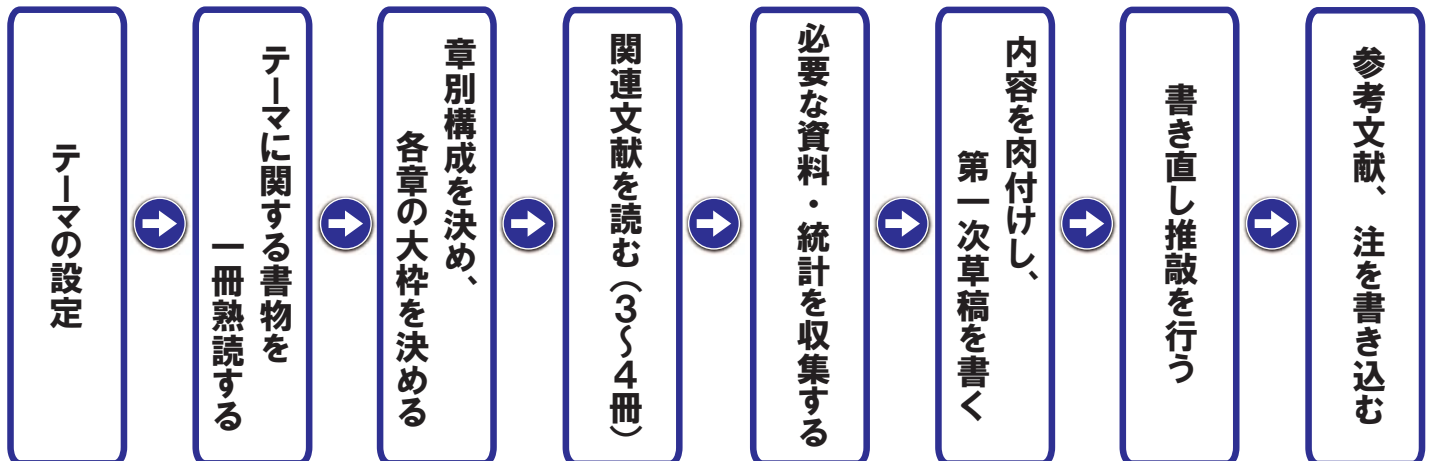
# 論文を書くには

「論文を書きたいけれど、なにから始めればいいのかわからない」そんな学生の皆さんへ。ここで紹介する説明や資料を見て、論文作成のステップをつかみましょう。



## ■ 論文作成の流れ

まずは論文作成の流れを把握しましょう。論文は、次の流れで作成します。



※「論文・レポートの書き方」手引きシリーズ (<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>) 第2章 P.30 参照

## ■ 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

「論文作成の流れ」では、作成の大まかな流れを紹介しました。次の資料を用いて、もう少し具体的に作成のステップを学びましょう。

### 「論文・レポートの書き方」(手引きシリーズ <http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>)

大阪経大学会作成の、論文やレポートの書き方をまとめた手引きシリーズです。レポートや論文に対する基本的な心がまえを身に着けることができる内容となっております。論文の書き方、情報収集の仕方、文章の書き方、文献・資料の引用方法について全面的に取り上げています。ダウンロードの上、ご活用ください。。



### 「情報の達人第3巻レポート・論文を書こう！誰にでも書ける10のステップ」(DVD資料)

レポートや論文の書き方について、動画を用いてわかりやすく解説されています。テーマの選択から仕上げまで、全部で11のステップに区切られていて、自分のペースにあわせて見ることができます。

## ■ 図書館のご案内

本学図書館では、豊富な書籍・雑誌を取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、是非利用してください。

